SAMSUNG TECHWIN

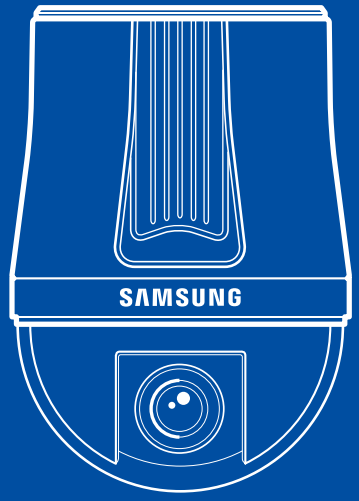
SALES NETWORK

- **SAMSUNG TECHWIN CO., LTD.**
  145-3, Sangdaewon 1-dong, Jungwon-gu, Seongnam-si, Gyeonggi-do 462-703, Korea
  TEL : +82-31-740-8137~8141 FAX : +82-31-740-8145
- **SAMSUNG OPTO-ELECTRONICS AMERICA,INC. ELECTRONIC IMAGING DIV.**
  40 Seaview Drive, Secaucus, NJ 07094, U.S.A
  TEL : +1-201-902-0347 FAX : +1-201-902-0429
- **SAMSUNG OPTO-ELECTRONICS UK, LTD.**
  Samsung House, 1000 Hillswood Drive, Hillswood Business Park Chertsey, Surrey KT16 OPS
  TEL : +44-1932-45-5308 FAX : +44-1932-45-5325
- **TIANJIN SAMSUNG OPTO-ELECTRONICS CO., LTD.**
  7 Pingchang Rd, Nankai Dist. Tianjin 300190, P.R China
  TEL : +86-22-2761-4724(33821) FAX : +86-22-2761-6514

www.samsungtechwin.com
www.samsungcctv.com

P/No. :
VAN 06. 01

SAMSUNG TECHWIN



30倍超低照度＆WDR
スピードドームカメラ

取扱説明書

SPD-3300

取扱説明書についてのお願い：このカメラを設置し、使用する前に本取扱説明書を注意深く読んでください。お読みになった後は、大切に保存して、必要なときにお読みください。

特長

オートフォーカス機能付き光学30倍ズームレンズ

30倍光学ズームレンズは、デジタル8倍ズーム機能と合成し、映像を240倍拡大表示できます。

各種の自動監視

最適映像を得るために12カメラの調整機能を、個々に各プリセットメニューにセーブできます。

- 映像保持
  カメラがプリセット間を移動中でも監視機能を高めるため映像を保持し、表示し続けます。
- 各種プロトコル
  5つの別会社のプロトコルを支援します。(Samsung Techwin、Pelco、Samsung Electronics、Panasonic及びVicon)
- PTZトラッキング
  ジョイスティック操作により、4種のパターンをセーブでき再生できます。
- オートスイング
  パン/チルトを指定した2点間を反復動作します。
- グループサーチ
  最大128プリセットポジションを順にツアーします。
- ツアーサーチ
  最大6グループサーチ機能により順にツアーします。

スマートP/T

ズームポジションに連携するパン/チルト速度補正機能のために、Zoom-in機能がONでも、手動で微調整も可能です。

Day & Night

ICR(赤外フィルター挿入/除去)付きDay & Night機能により、昼夜、最適映像を提供します。電子増感機能は電子的に露光時間を延ばしてCCDの感度を向上させます。Day & Night機能により、照明環境に対応して、カラー映像あるいは白黒映像を選択及び調整できます。

OSD(オンスクリーン表示)

カメラID、カメラ名称、領域名称及びカメラ状態のような項目をモニターに表示し、カメラ機能をOSDメニュー画面で設定できます。

128プリセットポジション

最大128プリセットポジションを設定でき、何時でも監視できるように監視場所を設定できます。

デジタルフリップ

カメラ真下の移動対象物を監視する場合、ジョイスティックを用いてデジタルフリップ機能により、上下正常な映像を表示できます。

領域マスキング

プライバシー保護のため、最大8領域までプライバシーマスキングを設定できます。

警告

カメラは定期検診を必要とします。

販売店にご相談ください。

異常を見つけた場合はカメラの使用を中止してください。

煙が出たり、異常な高温でカメラを長時間使用すると、火災の原因になります。

カメラを支える強度がない場所に設置しないでください。

不安定な場所に設置すると、落下したり、その他の危険の原因になります。

濡れた手でプラグに触らないでください。

電気衝撃の原因になります。

カメラを分解しないでください。

分解すると、火災、電気衝撃あるいは他の危険の原因になります。

カメラを可燃性ガスの近くで使用しないでください。

火災あるいは他の危険の原因になります。

目　次

安全へのご注意 …… 6

各部の名称と機能 …… 8
■本体 …… 8
■カメラホルダー …… 9
■カメラホルダーの接続 …… 10
■カメラホルダー初期設定 …… 11

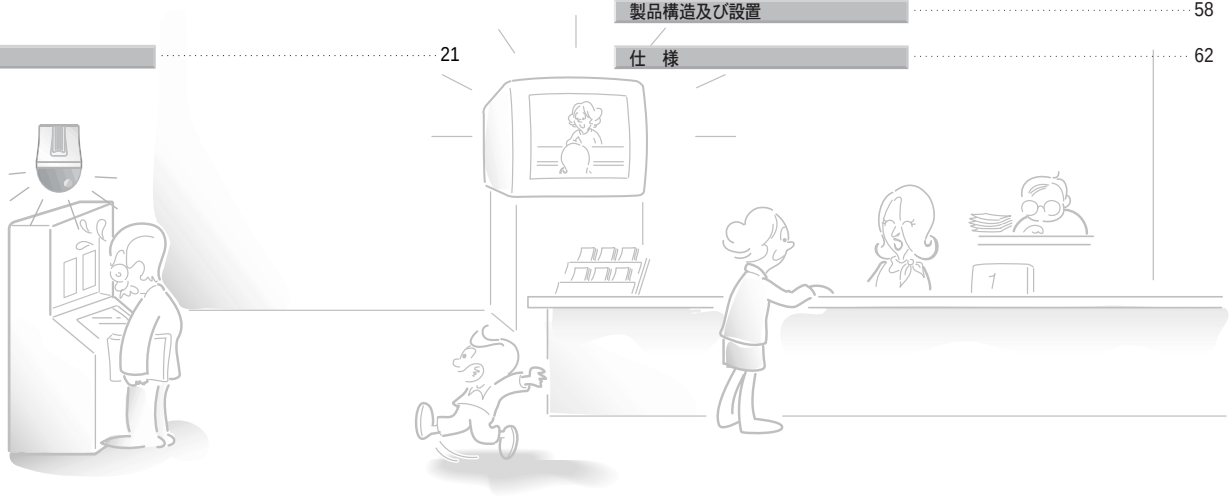
構成品名及び付属品 …… 12

設置 …… 21

機能の説明 …… 28
■OSDメニュー表 …… 28
■ドームカメラユーザー設定 …… 32
1. カメラ設定 …… 32
2. シーケンス設定 …… 41
3. P/T設定 …… 47
4. OSD設定 …… 50
5. アラーム設定 …… 54
6. 初期化設定 …… 56
7. 状態 …… 57

製品構造及び設置 …… 58

仕　様 …… 62



安全へのご注意

設置は専門業者に依頼してください。

専門業者以外による設置は、火災あるいは電気衝撃の原因になります。販売店にご相談ください。

高湿度の環境あるいは可燃性や爆発性ガスの環境に設置しないで下さい。

故障、火災あるいは電気衝撃の原因になります。

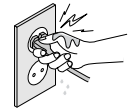
カメラから不自然な臭い、あるいは煙が出ていることに気付いたら、直ちに使用を中止してください。

火災の原因になります。

カメラ取付けに十分な強度を持つ場所に設置してください。

落下の原因になります。

電源プラグを濡れた手で触らないでください。



電気衝撃の原因になります。

カメラを分解したり、異物を挿入しないでください。

故障あるいは電気衝撃の原因になります。

極端な高温あるいは低温環境にカメラを設置しないでください。

カメラは-10℃から+50℃の範囲で使用してください。特に高温環境では放熱に留意ください。画質低下あるいは故障の原因になります。

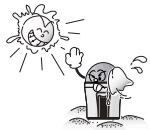
不安定な照明環境にカメラを設置しないでください。

極端な照明変動あるいはフリッカが故障の原因になります。

カメラを落としたり、衝撃を加えないでください。

故障の原因になります。

カメラを太陽あるいは強いライトに直接向けないでください。



CCDあるいは内部回路を破損させます。

カメラの前面窓に触れないでください。

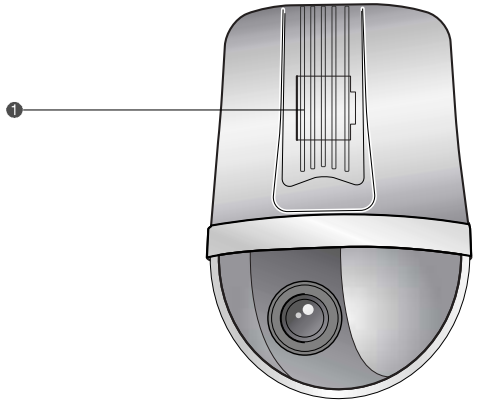
カメラの重要な部分です。表面に指紋を付けないよう注意してください。

カメラを雨やこぼれた液体に触れる環境に設置しないでください。

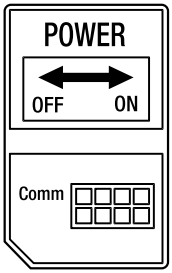
もしカメラ濡れると故障の原因になります。

各部の名称と機能

本体

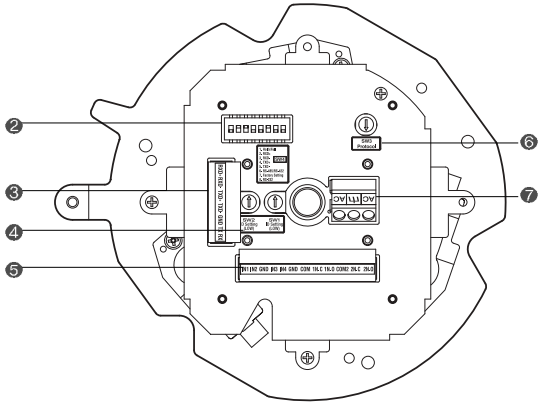


❶電源スイッチ
電源ON/OFF(出荷時設定：OFF)



カメラホルダー

カメラホルダー



❷機能設定スイッチ
1：Half(半二重)/Full(全二重)、 2,3,4,5：RS-485/422端子設定
6：RS-485/422通信、 7：出荷時設定、 8：RS-232

❸コントローラー入力接続
1：RXD+、2：RXD-、3：TXD+、4：TXD-、5：GND、6：TX、7：RX

❹ID設定スイッチ

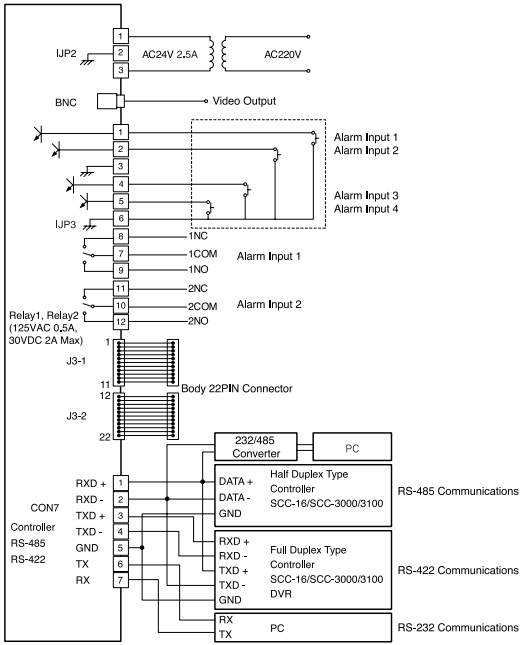
❺アラーム入力接続
1：IN1、 2：IN2、 3：GND、 4：IN3、 5：IN4、 6：GND、
7：COM1、8：1N.C、9：1N.O、10：COM2、11：2N.C、12：2N.O

❻プロトコル選択スイッチ

❼AC24V入力

各部の名称と機能

カメラホルダーの接続



注

●PCからスピードドームカメラを制御する場合は、専用のソフトウェアを必要とします。

カメラホルダー初期設定

通信プロトコル設定

通信プロトコル設定用設置ブラケットのSW3の仕様

SW1	Protocol	Baud Rate(BPS)
0	Samsung	9,600
1	Samsung	19,200
2	Pelco-D	2,400
3	Pelco-D	4,800
4	Pelco-D	9,600
5	Samsung Elec.	9,600
6	Samsung Elec.	19,200
7	Samsung Elec.	38,400
8	Panasonic	9,600
9	Panasonic	19,200
10	Vicon	4,800
11	Vicon	9,600
12~F	Reserve	

注

●Panasonic及びVicon製コントローラーを使用する場合は、販売店にご相談ください。

DVRモデルによるボーレートの設定(カメラホルダー)

スピードドームカメラがカメラコントロールでなくDVRによる場合、DVRのモデルにより下表のように通信速度を設定します。

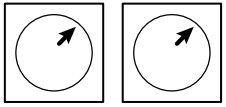
Protocol / DVR Model	Samsung	Pelco	Samsung Elec.
SVR-430	9600,19200	9600	19,200,38,400
SVR-440	9600,19200	4800, 9600	19,200,38,400
SVR-1630	9600,19200	2400,4800,9600	19,200,38,400
SVR-1650	9600,19200	2400,4800,9600	19200,38400

注

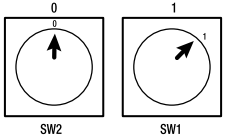
●DVRのファームウエアバージョンにより制御機能はサポートされません。
最終バージョンを設定後、この機能を使用してください。

カメラIDの設定(カメラホルダー)

２つのロータリースイッチ(SW1及びSW2)を用いてカメラIDを設定します。
SW1は上位レベルスイッチ、SW2は下位レベルスイッチです。



例：カメラIDを１に設定する場合、IDは右図のように設定します。



カメラIDスイッチ(カメラホルダー)の設定表

Camera ID	SW2	SW1	Remarks
ID = 0	0	0	N/A
ID = 1	0	1	
ID = 2	0	2	
ID = 3	0	3	
ID = 4	0	4	
ID = 5	0	5	
ID = 6	0	6	
ID = 7	0	7	
ID = 8	0	8	
ID = 9	0	9	
ID = 10	0	A	
ID = 11	0	B	
ID = 12	0	C	
ID = 13	0	D	
ID = 14	0	E	
ID = 15	0	F	
ID = 16	1	0	
ID = 17	1	1	
ID = 18	1	2	
ID = 19	1	3	
ID = 20	1	4	
ID = 21	1	5	
ID = 22	1	6	
ID = 23	1	7	
ID = 24	1	8	
ID = 25	1	9	
ID = 26	1	A	
ID = 27	1	B	
ID = 28	1	C	
ID = 29	1	D	
ID = 30	1	E	
ID = 31	1	F	
ID = 32	2	0	
ID = 33	2	1	
ID = 34	2	2	
ID = 35	2	3	
ID = 36	2	4	
ID = 37	2	5	
ID = 38	2	6	
ID = 39	2	7	
ID = 40	2	8	
ID = 41	2	9	
ID = 42	2	A	
ID = 43	2	B	
ID = 44	2	C	
ID = 45	2	D	
ID = 46	2	E	
ID = 47	2	F	

Camera ID	SW2	SW1	Remarks
ID = 48	3	0	
ID = 49	3	1	
ID = 50	3	2	
ID = 51	3	3	
ID = 52	3	4	
ID = 53	3	5	
ID = 54	3	6	
ID = 55	3	7	
ID = 56	3	8	
ID = 57	3	9	
ID = 58	3	A	
ID = 59	3	B	
ID = 60	3	C	
ID = 61	3	D	
ID = 62	3	E	
ID = 63	3	F	
ID = 64	4	0	
ID = 65	4	1	
ID = 66	4	2	
ID = 67	4	3	
ID = 68	4	4	
ID = 69	4	5	
ID = 70	4	6	
ID = 71	4	7	
ID = 72	4	8	
ID = 73	4	9	
ID = 74	4	A	
ID = 75	4	B	
ID = 76	4	C	
ID = 77	4	D	
ID = 78	4	E	
ID = 79	4	F	
ID = 80	5	0	
ID = 81	5	1	
ID = 82	5	2	
ID = 83	5	3	
ID = 84	5	4	
ID = 85	5	5	
ID = 86	5	6	
ID = 87	5	7	
ID = 88	5	8	
ID = 89	5	9	
ID = 90	5	A	
ID = 91	5	B	
ID = 92	5	C	
ID = 93	5	D	
ID = 94	5	E	
ID = 95	5	F	

Camera ID	SW2	SW1	Remarks
ID = 96	6	0	
ID = 97	6	1	
ID = 98	6	2	
ID = 99	6	3	
ID = 100	6	4	
ID = 101	6	5	
ID = 102	6	6	
ID = 103	6	7	
ID = 104	6	8	
ID = 105	6	9	
ID = 106	6	A	
ID = 107	6	B	
ID = 108	6	C	
ID = 109	6	D	
ID = 110	6	E	
ID = 111	6	F	
ID = 112	7	0	
ID = 113	7	1	
ID = 114	7	2	
ID = 115	7	3	
ID = 116	7	4	
ID = 117	7	5	
ID = 118	7	6	
ID = 119	7	7	
ID = 120	7	8	
ID = 121	7	9	
ID = 122	7	A	
ID = 123	7	B	
ID = 124	7	C	
ID = 125	7	D	
ID = 126	7	E	
ID = 127	7	F	
ID = 128	8	0	
ID = 129	8	1	
ID = 130	8	2	
ID = 131	8	3	
ID = 132	8	4	
ID = 133	8	5	
ID = 134	8	6	
ID = 135	8	7	
ID = 136	8	8	
ID = 137	8	9	
ID = 138	8	A	
ID = 139	8	B	
ID = 140	8	C	
ID = 141	8	D	
ID = 142	8	E	
ID = 143	8	F	
ID = 144	9	0	
ID = 145	9	1	

Camera ID	SW2	SW1	Remarks
ID = 146	9	2	
ID = 147	9	3	
ID = 148	9	4	
ID = 149	9	5	
ID = 150	9	6	
ID = 151	9	7	
ID = 152	9	8	
ID = 153	9	9	
ID = 154	9	A	
ID = 155	9	B	
ID = 156	9	C	
ID = 157	9	D	
ID = 158	9	E	
ID = 159	9	F	
ID = 160	A	0	N/A
ID = 161	A	1	
ID = 162	A	2	
ID = 163	A	3	
ID = 164	A	4	
ID = 165	A	5	
ID = 166	A	6	
ID = 167	A	7	
ID = 168	A	8	
ID = 169	A	9	
ID = 170	A	A	
ID = 171	A	B	
ID = 172	A	C	
ID = 173	A	D	
ID = 174	A	E	
ID = 175	A	F	N/A
ID = 176	B	0	
ID = 177	B	1	
ID = 178	B	2	
ID = 179	B	3	
ID = 180	B	4	
ID = 181	B	5	
ID = 182	B	6	
ID = 183	B	7	
ID = 184	B	8	
ID = 185	B	9	
ID = 186	B	A	
ID = 187	B	B	
ID = 188	B	C	
ID = 189	B	D	
ID = 190	B	E	
ID = 191	B	F	
ID = 192	C	0	
ID = 193	C	1	
ID = 194	C	2	
ID = 195	C	3	

Camera ID	SW2	SW1	Remarks
D = 196	C	4	
ID = 197	C	5	
ID = 198	C	6	
ID = 199	C	7	
ID = 200	C	8	
ID = 201	C	9	
ID = 202	C	A	
ID = 203	C	B	
ID = 204	C	C	
ID = 205	C	D	
ID = 206	C	E	
ID = 207	C	F	
ID = 208	D	0	
ID = 209	D	1	
ID = 210	D	2	
ID = 211	D	3	
ID = 212	D	4	
ID = 213	D	5	
ID = 214	D	6	
ID = 215	D	7	
ID = 216	D	8	
ID = 217	D	9	
ID = 218	D	A	
ID = 219	D	B	
ID = 220	D	C	
ID = 221	D	D	
ID = 222	D	E	
ID = 223	D	F	
ID = 224	E	0	
ID = 225	E	1	
ID = 226	E	2	
ID = 227	E	3	
ID = 228	E	4	
ID = 229	E	5	
ID = 230	E	6	
ID = 231	E	7	
ID = 232	E	8	
ID = 233	E	9	
ID = 234	E	A	
ID = 235	E	B	
ID = 236	E	C	
ID = 237	E	D	
ID = 238	E	E	
ID = 239	E	F	
ID = 240	F	0	
ID = 241	F	1	
ID = 242	F	2	
ID = 243	F	3	
ID = 244	F	4	
ID = 245	F	5	

Camera ID	SW2	SW1	Remarks
ID = 246	F	6	
ID = 247	F	7	
ID = 248	F	8	
ID = 249	F	9	
ID = 250	F	A	
ID = 251	F	B	
ID = 252	F	C	
ID = 253	F	D	
ID = 254	F	E	
ID = 255	F	F	

注

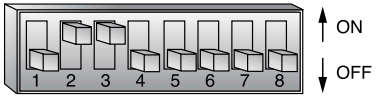
●出荷時設定：カメラID=1

下表３に示すカメラIDは使用できません。

Camera ID	R-SW2	R-SW1
ID=0	0	0
ID=160	A	0
ID=175	A	F

伝送モード設定(カメラホルダー)

DIPスイッチSW３のON/OFFを用いる通信モード設定



SW3

	機能	ON	OFF
SW3・#	通信モード選択	Full Duplex(全二重)(DVR)	Half Duplex(半二重)(SCC-16/SCC-3000/3100)

注

●出荷時設定：OFF

RS-485/RS-422A終端設定(カメラホルダー)

ディップスイッチSW３の2,3,4,5のON/OFFを用いて終端を設定します。

カメラ接続場所	SW3-#2	SW3-#3	SW3-#4	SW3-#5
最終端機器	ON	ON	ON	ON
中間機器	OFF	OFF	OFF	OFF

注

●出荷時設定：#2及び#3のみON

通信モードの設定(カメラホルダー)

	機能	ON	OFF
SW3・#6	出荷時レリーズ	RS-422	RS-485

注

●出荷時設定：OFF

出荷時調整用設定(カメラホルダー)

	機能	ON	OFF
SW3・#7	出荷時レリーズ	常時OFF	

注

●出荷時設定：OFF

PC通信設定(カメラホルダー)：保留

	機能	ON	OFF
SW3・#8	PC通信	RS-232	RS-485/422

注

●出荷時設定：OFF

コントローラー接続端子(カメラホルダー)

	機能名称	目的
CON7-#1	RXD＋	コントローラーデータ線接続
CON7-#2	RXD－	コントローラーデータ線接続
CON7-#3	TXD＋	コントローラーデータ線接続
CON7-#4	TXD－	コントローラーデータ線接続
CON7-#5	GND	接地
CON7-#6	TX	RS-232通信用
CON7-#7	RX	RS-232通信用

アラーム接続端子(カメラホルダー)

	機能名称	目的
IJP3-#1	N1	ｱﾗｰﾑ入力センサー接続端子 1
IJP3-#2	IN2	ｱﾗｰﾑ入力センサー接続端子2
IJP3-#3	GND	接地
IJP3-#4	IN3	ｱﾗｰﾑ入力センサー接続端子3
IJP3-#5	IN3	ｱﾗｰﾑ入力センサー接続端子4
IJP3-#6	GND	接地
IJP3-#7	COM1	ｱﾗｰﾑ出力1(ｺﾓﾝ)
IJP3-#8	1N.C	ｱﾗｰﾑ出力1(N.C)
IJP3-#9	1N.O	ｱﾗｰﾑ出力1(N.O)
IJP3-#10	COM2	ｱﾗｰﾑ出力2(ｺﾓﾝ)
IJP3-#11	2N.C	ｱﾗｰﾑ出力1(N.C)
IJP3-#12	2N.O	ｱﾗｰﾑ出力1(N.O)

終端抵抗の設定

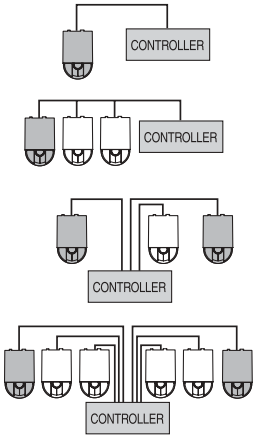
伝送信号の減衰を避けるため、長距離カメラの 2 つのユニット及びRS485インターフェースに接続されているコントローラーは終端します。

カメラ内には終端抵抗を内蔵するため、終端するか、しないかDIPスイッチで選択します。

下記の接続図はどの装置を終端するか示しています。

黒く塗りつぶした装置は終端します。

終端抵抗設定の設置距離は1.2km以内です。
(最大ケーブル延長距離は、RS-485標準によりますが、1.2kmです。)



付属品

AC24Vアダプター(ピーク2.5A)

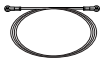
取扱説明書

カメラホルダー

カメラホルダー固定用ネジ(3本)
ケーブル固定用ネジ(1本)

コントローラー接続用端子(7ピン)

ｱﾗｰﾑ接続用端子(12ﾋﾟﾝ)


安全ワイヤ

別売製品

下表の製品は、本体とは別に販売されています。

製品名称	モデル	備考
天井面取付け用マウント	STB-330PC	天井面取付けに用
カメラコントローラー	SCC-16	ﾊﾟﾝﾁﾙﾄﾞﾁﾙﾄ､ｽﾞｰﾑﾌｫｰｶｽ制御、OSD、各種機能設定
カメラコントローラー	SCC-3000/3100	ﾊﾟﾝﾁﾙﾄﾞﾁﾙﾄ､ｽﾞｰﾑﾌｫｰｶｽ制御、OSD、各種機能設定
屋内ハウジング	STH-330PI	屋内設置用ハウジング
屋内天井埋め込み用ハウジング	STH-330PE	屋内天井埋め込み用
屋外ハウジング	STH-330PO	出力DC12V(ヒーター、ファン含む)
壁面取付けマウント	STB-270PW	壁面に取り付け用
天井取付け用マウント	STB-496PP	天井取付け用

注

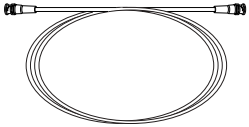
●頁26及び27の製品イメージを参照ください。

ケーブルの準備

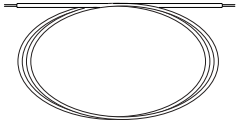
SPD-3300を設置し、使用するために下記のようにケーブルを用意します。

●電源アダプターケーブル
SPD-3300の電源入力端子に接続するAC24V、2.5A規格のケーブルを下図に示します。

●映像ケーブル
SPD-3300の映像出力端子とモニターを接続するBNCケーブルを下図に示します。



●通信ケーブル
RS-485/422通信用にSPD-3300のコントローラーに接続するケーブルを下図に示します。



注

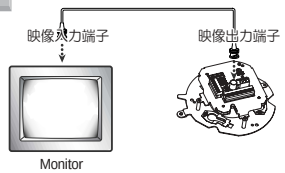
●映像ケーブル及び通信用ケーブルは本装置の構成品に含みません。

設　置

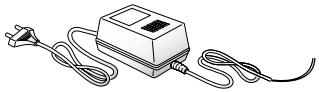
ケーブル接続

1. 先ず、BNC映像ケーブルコネクターの一端を映像出力端子に接続します。

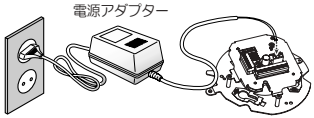
2. 次に、他端をモニターの映像入力端子に接続します。



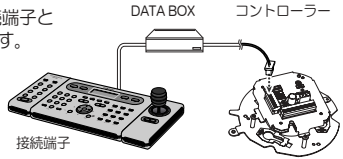
3. カメラホルダーの電源入力端子へ、マイナスドライバーを用いて、電源アダプターケーブルを接続します。



4. 電源アダプタープラグを電源コンセントに接続します。



5. SPD-3300のコントローラー接続端子と外部コントローラーを接続します。



SPD-3300の設置

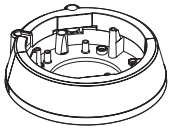
●設置に関するご注意

- 設置場所を確認します。スピードドームカメラ(SPD-3300)とその取付け用品を含む全質量の4倍以上の十分な強度を持つ構造体に設置します。
- 天井面から上部へ500mm以上の空間を保ち、カメラを設置します。
- カメラホルダーを付属のガイドタブ、ネジ及び安全ワイヤを用いて設置します。
- 設置中にカメラの落下を防止するため安全ワイヤを用います。
  同時に設置中に設置要員以外の人を設置場所に近づけないでください。

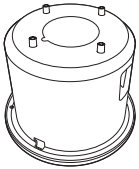
●別途販売付属品

設置場所により、設置の便利性を考慮して、別途販売される下記の付属品を用います。

1) 天井面設置用マウント(STB-330PC)天井面に設置する場合、使用されます。

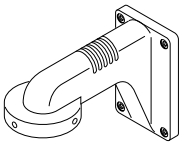


2) 屋内天井埋め込み用ハウジング(STH-330PE)天井に埋め込み設置する場合に使用されます。

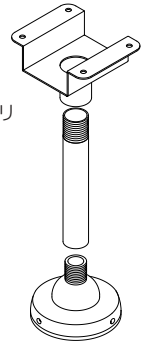


3) 屋内/屋外用ハウジング(STH-330PI/STH-330PO)
屋外あるいは屋内の天井あるいは壁面へSPD-3300カメラを設置する場合に使用されます。(屋内用はファン及びヒーターを含みません。)

4) 壁面設置用マウント(STB-270PW)
SPD-3300カメラの屋内あるいは屋外ハウジングを壁面に設置する場合に使用されます。

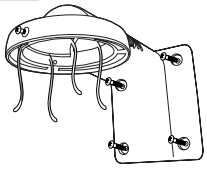


5) 天井用マウント(STB-496PP)
SPD-3300カメラの屋内あるいは屋外ハウジングをコンクリート天井に設置する場合に使用されます。

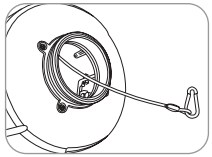


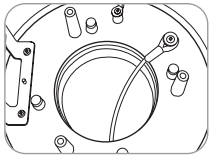
カメラ設置(屋外ハウジング)

1. 天井に天井マウントを固定します。

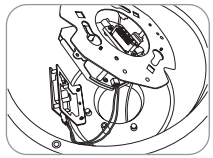


2. 屋外ハウジングに固定されている安全ワイヤをハウジングの外へ引き出します。

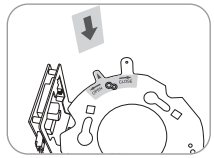




3. ハウジング内のファン/ヒーターPCBケーブルをカメラホルダー・コネクターに接続します。

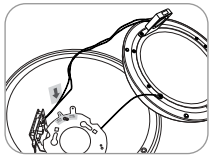


4. カメラホルダー上の矢印をハウジング内部の矢印に合わせ、それからハウジング内へカメラホルダーを設置します。

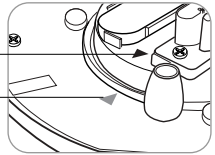


設 置

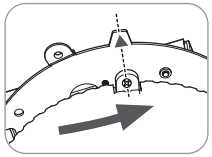
5. ハウジング内でヒーターとファンケーブルを
ファン/ヒーターPCBに接続します。



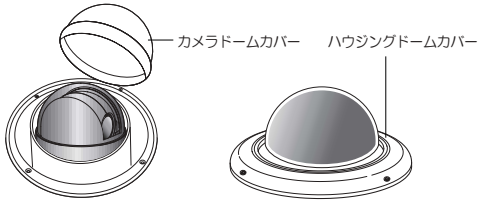
6. カメラ本体の底面に印された矢印を調整して、
相互に向き合うようにします。



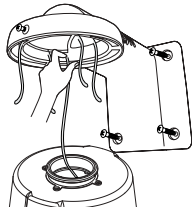
7. カメラ底部の設置用ﾋﾟﾝとハウジング内の
矢印が合うようにカメラをハウジング内に挿
入し、それから固定穴に挿入することで、
ネジを時計方向に回してカメラを固定します。



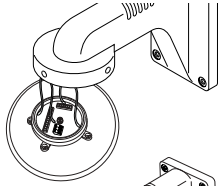
8. カメラドームカバーを取外し、ハウジング・ドームカバーを取り付けます。



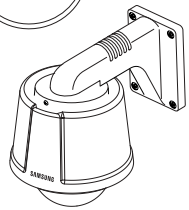
9. 天井に設置されたマウント内の固定部に
ハウジング安全ワイヤを接続します・



10. 映像ケーブル、コントローラーケーブル、
電源アダプターケーブルをカメラホルダー
に接続します。



11. 全ての部品とカメラをチェックし、
天井用マウントへ完成した屋外ハウジングを
設置します。



注

- 電源接続前に電源アダプターの入力電圧を調べてください。
- ハウジングなしに設置する場合、カメラケーブル及び別に供給されるネジで締めてカメラを固定できます。
- 緩まないようにネジを固く締めてください。
- 緩むと、外部からの振動や衝撃により設置されたカメラが落下する恐れがあります。
- 天井用マウントの屋外ハウジングを設置する前に、カメラID、終端抵抗及びプロトコル選択スイッチを設定してください。

機能の説明

OSDメニュー構成

SPD-3300カメラはカメラコントローラーにより、ビデオモニターにOSD(画面表示)メニューを表示して設定できます。
OSDメニューは下記の通りです。PCからカメラへ制御コードを送る場合、カメラ機能を使用できます。

●メニュー構成表

メニュー	機能	メニュー	機能
TILT UP	OSDメニューで上に移動	PAN LEFT	OSDメニューで左へ移動
TILT DOWN	OSDメニューで下に移動	PAN RIGHT	OSDメニューで右へ移動

P1	P2	P3	P4		Default(初期設定)
① Camera Setting (ｶﾒﾗ設定)	① Focus (ﾌｫｰｶｽ)	① Focus Mode(ﾌｫｰｶｽ・ﾓｰﾄﾞ)	Auto/Manual/One Shot AF(ﾜﾝｼｮｯﾄｵｰﾄﾌｫｰｶｽ)		One Shot AF
		② Zoom Tracking(ｽﾞｰﾑ・ﾄﾗｯｷﾝｸﾞ)	Mode	On/Off	ON
			Speed	Slow/Fast	Fast
		❸ Digital Zoom(ﾃﾞｼﾞﾀﾙ・ｽﾞｰﾑ)	Off/2X/4X/8X		4 X
	❷ White Balance (ﾎﾜｲﾄﾊﾞﾗﾝｽ)	AWB Mode	ATW/AWC/MANUAL		ATW(O)
			→ATW		
			-ATW(I) : Indoor (屋内) -ATW(O) : Outdoor(屋外)		
			→MANUAL		3200
			-Temperature : 2000K/3200K/5100K(色温度)		050
			-Red -Blue		050
	③ Exposure (露光)	❶ Britness(明るさ)	50		050
		❷ Iris(絞り)	Auto		Auto
			Manual	Iris Level(ｱｲﾘｽﾚﾍﾞﾙ)	050
		❸ Shutter(ｼｬｯﾀｰ)	- - -		ESC
			A.FLK(ﾌﾘｰｶｰﾚｽ)		
			Manual	1/60～1/120,000 x2-x128	1/60
		❹ Sense-Up(電子増感)	Auto	Sense-Up Limit x2-x128(電子増感制限)	x4
			Off		
	❹ Back Light (逆光)	WDR	WDR Limit(WDR制限)	High/Middle/Low	Middle
		Off			OFF
	❺ AGC	High/Middle/Low/Off			Middle
	❻ SSNR	High/Middle/Low/Off			OFF
	❼ Day&Night	Auto			
		B/W	B/W Burst(ﾊﾞｰｽﾄ)	On/Off	OFF
		Color	Burst Level(ﾊﾞｰｽﾄﾚﾍﾞﾙ)		150

P1	P2	P3	P4			Default(初期設定)
① Camera Setting (ｶﾒﾗ設定)	⑧ Others (その他)	❶ Sync(同期)	Internal(内部)			10
			Line Lock(電源同期)	Line Lock Phase(電源同期位相)		225
		② Image Adj.(画質調整)	Tone(明暗)			005
			Sharpness(鮮鋭度)			050
			Color			050
		❸ Freeze	On/Off			OFF
② Sequence Setting (ｼｰｹﾝｽ設定)	① Preset(ﾌﾟﾘｾｯﾄ)	① Setting(設定) ② Edit(編集)	③ Execute(実行) ④ Clear(ｸﾘｱ) ⑤ Status(状態)			
	② Swing Seq. (ｽｲﾝｸﾞｼｰｹﾝｽ)	① Pan Swing	① Setting ② Execute ③ Clear			
		② Tilt Swing	① Setting ② Execute ③ Clear			
		③ P/T Swing	① Setting ② Execute ③ Clear			
	③ Group Seq. (ｸﾞﾙｰﾌﾟｼｰｹﾝｽ)	① Group1	① Setting ② Execute ③ Clear			
		② Group2	① Setting ② Execute ③ Clear			
		③ Group3	① Setting ② Execute ③ Clear			
		④ Group4	① Setting ② Execute ③ Clear			
		⑤ Group5	① Setting ② Execute ③ Clear			
		⑥ Group6	① Setting ② Execute ③ Clear			
	④ Tour Seq.(ﾂｱｰｼｰｹﾝｽ)	① Setting ② Execute ③ Clear				
	⑤ PTZ Trace (PTZﾄﾚｰｽ)	① Trace1	① Replay(再生) ② Memorize(記憶)			
		① Trace2	① Replay(再生) ② Memorize(記憶)			
		① Trace3	① Replay(再生) ② Memorize(記憶)			
		①Trace4	① Replay(再生) ② Memorize(記憶)			
	⑥ Auto Run (ｵｰﾄﾗﾝ)	① Mode	❶ Off			OFF
			❷ Preset	Preset No		
			❸ Swing	Swing Mode Pan/Tilt/P&T		
			❹ Group	Group No		
			❺ Tour			
			⑥ Trace	Trace1～Trace4		
			⑦A.Pan	① Auto Pan Speed	20-50	32
				② Tilt Angle	10-45	25
		❷ Time	1-59(秒)、1-59(分)			30秒
	⑦ Power ON Resume(再開)	On/Off				OFF
③ P/T Setting (P/T設定)	①Pan Limit	① Position ② ON/OFF				
	②Tilt Limit	① Position ② ON/OFF				
	❸Area Setting	① Area1	❶ Area Name(領域名) ❷ Position(ポジション) ❸ ON/OFF			
		② Area 2				
		③ Area 3				
		④ Area 4				

機能の説明

P1	P2	P3	P4	Default(初期設定)
③ P/T Setting	③ Area Setting (領域設定)	⑤ Area5	❶ Area Name(領域名) ❷ Position(位置) ❸ ON/OFF	
		⑥ Area6		
		⑦ Area7		
		⑧ Area8		
	④ Area Masking (領域ﾏｽｷﾝｸﾞ)	① Mask1	❶ Position ❷ ON/OFF	
		② Mask2		
		③ Mask3		
		④ Mask4		
		⑤ Mask5		
		⑥ Mask6		
		⑦ Mask7		
		⑧ Mask8		
	❺ Prop.P/T	ON/OFF		ON
	❻ Digital Flip	ON/OFF		ON
	❼ Image Hold(映像保持)	ON/OFF		OFF
④ OSD Setting	① Camera ID	ON/OFF		ON
	② Camera Name	①Edit ②ON/OFF		
	③ Preset Number	ON/OFF	ON	
	④ Preset Name	①Edit ②ON/OFF		
	⑤ Sequence Status	ON/OFF	ON	
	⑥ Area Name	ON/OFF		OFF
	⑦ PTZ Position	ON/OFF		OFF
⑤ Alarm Setting (ｱﾗｰﾑ設定)	① Alarm Enable(作動)	ON/OFF		OFF
	② Alarm input	❶ Alarm1	NC/NO/COM	
		❷Alarm2	1-4(Priority)	
		❸ Alarm3	Preset/Group/Tour	
		❹ Alarm4	A. Pan/Trace	
	③ Alarm Out	❶ Setting 1	1-4.MD	
		❷ Setting	2 1-4.MD	
		❸ Timer1	1-59(秒)	
			1-59(分)	
			1-59(時)	
		❹ Timer 2	1-59(秒)	
			1-59(分)	
			1-59(時)	
		❺ Out Off1		
		❻ Out Off2		
	❹ MD Dwell Time(保持時間)	ON/OFF	1-59(秒)/1-59(分	30秒

P1	P2	P3	P4	Default(初期設定)
⑥ Initialize (初期化)	① Power On Rese	① Cancel(取り消し) ② Execute(実行)		
	② Factory Default Set (出荷時初期設定)	① Cancel(取り消し) ② Execut(実行)		
	③ Camera Default (ｶﾒﾗ初期設定)	① Cancel(取り消し) ②Execut(実行)		
	❹ Auto Refresh	OFF、1-7 Days		OFF
❼ Status				

注

●プリセット設定はOSDメニューあるいはコントローラーを用いてのみ可能です。

記号説明：

1. Sequence Modeのオートラン
→“A”記号が画面右上で点滅します。

2. モーション安定化スタンバイ動作
→“D”記号が画面右上で点滅します。

3. アラーム動作
→“ ”記号がが画面右上で点滅します。

4. アラーム入力#1,2,3,4センサー動作
→“①”,“②”,“③”,“④”記号が画面右上で点滅します。

5. アラーム出力#1,2センサー動作
→“❶”,“❷”記号が画面右上で点滅します。

6. モーション検出動作
→人のアイコンが画面右上で点滅します。

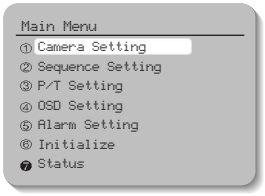
7. 選択したOSDメニューにサブメニューがある場合
→白色で番号を“①”のように画面右上に表示します。

8. 選択したOSDメニューにサブメニューがない場合
→黒色で番号を“❶”のように画面右上に表示します。

ドームカメラユーザーメニュー設定

● OSDメニューの実行
カメラが手動モードであることを確かめて、OSDメニューキーあるい1+MENU (SKP-200モデル)を押すと、モニター画面に下記のコマンドが表示されます。

● Mainメニュー

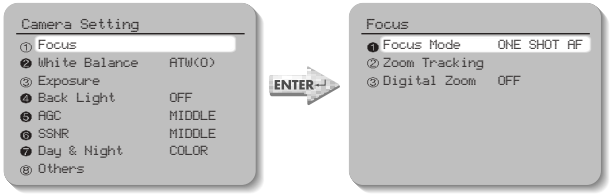


Mainメニュー画面でカメラ設定を行うため「Camera Setting」を選びます。

1) Camera Setting (カメラ設定)

Mainメニュー画面でカメラ設定を行うため「Camera Setting」を選びます。

● Camera Settingメニュー



FOCUS (フォーカス)

Mainメニュー画面でカメラ設定を行うため「Camera Setting」を選びます。

❶ Focusモード
→Auto : 自動モードで画面を連続監視中にカメラはフォーカスを自動的に調整します。オートフォーカスモードは、ズームキー操作中も作動します。
→Manual : 手動モードでは、手動でフォーカスを調整できます。
→One Shot AF : カメラが停止中に、ワンプッシュで自動的にフォーカスします。

② Zoom Tracking(ズームトラッキング)
→Mode : ONを選択すると、ズーム機能がONの場合、フォーカス機能が作動します。OFFを選択すると、フォーカス機能はズーム機能がONの場合でも作動しません。
→Speed : Fastはズーム速度を早くし、Slowは遅くします。

❸ Digital Zoom（デジタルズーム）
デジタルズーム倍率をOFF、２X、４X及び８Xから選択できます。
*デジタルズームの設定はプリセット動作設定前に行ってください。

注

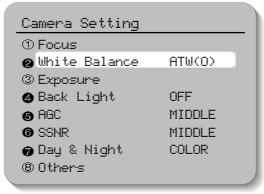
Digital Zoom
● デジタルズーム拡大が増加すると画質は劣化します。

Auto-focus
● 下記の条件下ではオートフォーカスは作動しません。
- 低照度環境
- スローシャッター作動時
- 増幅度が増加した場合
- 著しく高照度環境
- 同一の監視領域に遠近距離の被写体がある場合
- 被写体に空あるいは壁面のような白及び黒のコントラストがない場合
- 細い水平線状の被写体

機能の説明

White Balance(ホワイトバランス)

ホワイトバランス機能により、如何なる色温度環境下でも白色を忠実に再現します。
選択できる種類は、ATW、AWC及びManualです。初期設定はATWです。



●WBモード

→ATW : 色温度1,800K～10,500Kの照明環境で自動的に補正します。

*Indoor(屋内)「ATW（I）」：限られて色温度環境で用います。
*Outdoor(屋外)「ATW(O)」：広範囲の色温度環境で用います。

→AWC : カメラを使用する照明環境下で、カメラで白紙を撮像し、AWCモードに変更し、Enterキーを押すとAWCが作動します。AWC開始のためEnterキーを押すと、AWC Startが表示されます。調整終了後上記のメニューに戻ります。照明環境が変われば、再度調整します。

→Manual：手動調整で微調整できます。Red(赤)あるいはBlue(青)値を増減して、画面の色を調整します。

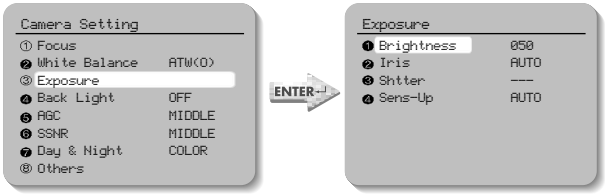
*Temperature(色温度)：2,000K、3,200K及び5,100Kの中から一つを選択します。
*Red：赤色強度が変化します。
*Blue：青色強度が変化します。

注

●ホワイトバランスは下記条件下では適切に作動しません。
① 環境の色温度が非常に高い場合。(青空あるいは日没)
② 暗い環境。
③ カメラが蛍光灯に直面している場合あるいは照明が著しく変動する場合。

Exposure（露光）

カメラの露光量を調整します。



❶ Brightness(明るさ)：画面の明るさを調整します。

❷ Iris(絞り):自動モードと手動モードを選択できます。
→Auto：映像信号の明るさを光量により自動的に調整できます。
→Manual：映像信号の明るさを光量により手動で調整します。

❸ Shutter(シャッター)
→---：電子シャッターモードが作動し、シャッター速度は自動的にシーンの明るさに対応して調整されます。
→A.FLK：フリッカーモードで電源が50Hz地域で使用します。
→Manual：1. シャッター速度を手動で調整します。
2. シャッター速度は1/60秒～1/120,000秒調整できます。
3. 電子増感機能を手動でx2～x128まで使用できます。

注

●効果的なA.FLK機能のためにはBack LightのWDRを同時に使用しないでください。
●内部同期モードでシャッターがESCに設定されている、あるいはカメラが蛍光灯に直面している場合、映像は不安定になります。カメラの設置環境に、ご注意ください。
●ShutterメニューでManualあるいはA.FLKを選択すると、Sens-Up機能は作動しません。

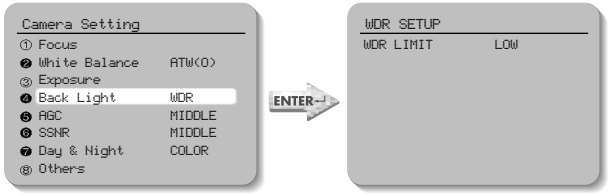
❹ Sens-Up(電子増感)
→Auto : 夜間あるいは暗い環境の低照度レベルを自動的に検出し、明るく明瞭な映像を提供します。
→Sens-Up Limit(電子増感制限) : 最大の蓄積時間を指定できます。
→Off : Sens-Up機能は作動しません。

注
- 蓄積時間が増加するにつれて画面は明るくなりますが、残像は増加し、最適なオートフォーカス機能は作動しません。

注
- シャッターメニューがManualモードの場合、WDR機能は作動しません。
- WDR機能を使用中、照明環境により下記の現象を生じることがあります。この場合WDRモードを中止してください。
  ① 不自然なカラーの変化あるいは不自然なシーンの発生時。
  ② 画面の明るい部分にノイズが発生する場合。
- WDRの性能は画面の明るい部分により変化するため、最適なWDR機能を得るため、最適なカメラの設置角度を選んでください。
- WDR Limit(制限)を広げると画面は不自然になります。

Back Light(逆光)

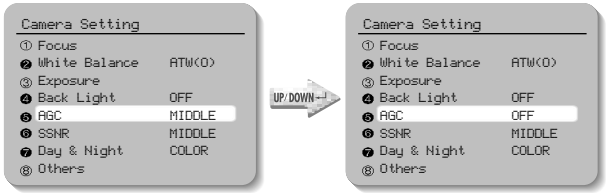
Samsung独自のSV-III DSPチップの採用により、著しい逆光環境でも、被写体と背景を明瞭に表示できます。



→ WDR ：明るいシーンと暗いシーンが同一画面にある場合、2つのシーンを明瞭に表示できます。
*WDR Limit(WDR制限) : High、MiddleあるいはLowモードを選択できます。
→ OFF ：WDR機能は作動しません。

AGC

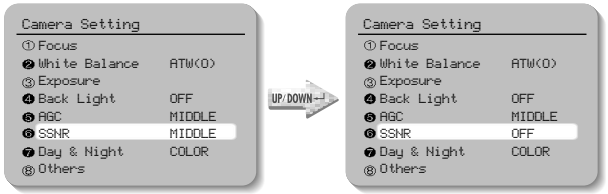
暗い照明環境で映像の明るさが一定レベル以下の場合、AGC(自動増幅度制御)機能が自動的に増幅度を制御するか決めます。



→ High(高)、Middle(中)、Low(低)あるいはOffの一つを選びます。

SSNR(サムスンスーパーノイズ削減)

SSNR機能は低照度環境下で、異なるモードで、それぞれに背景のノイズを削減します。
ノイズ削減効果は、Off、Low(低)、Middle(中)、High(高)の順に高くなります。



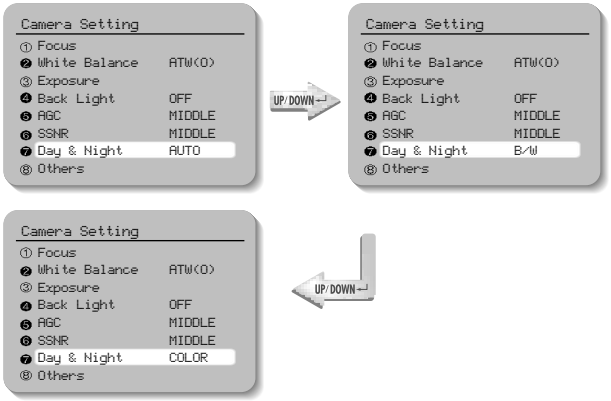
→ OFF : SSNRは作動しません。
→ LOW : 削減効果は小さいが、残像は少ない。
→ MIDDLE : 通常このモードで削減効果は高まり、ノイズは適度に削減され、強い残像はありません。
→ HIGH : 削減効果は著しく向上しますが、残像も増加します。

注

● AGCモードを“OFF”に設定すると、SSNR機能を使用できません。

Day & Night

夜間あるいは暗い照明環境で画面を明るく、明瞭に表示するため、低照度環境で自動的に暗さのレベルを検出します。

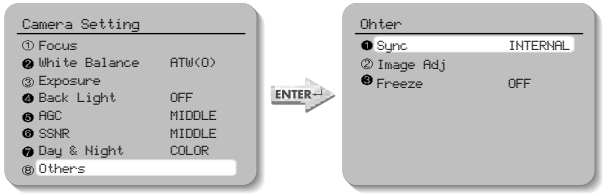


→ COLOR : 常時カラー映像を表示します。バースト信号レベルを調整できます。
→ B/W : 常時白黒映像を表示します。バースト信号を保持するか、削除します。
→ AUTO : 昼間、最適なカラー映像を表示するため、自動的にCOLORモードに切換わります。夜間、暗い被写体を明瞭に表示するため、モードは自動的にB/Wモードに変化します。

注

● AGCが“OFF”モードであれば、AUTOモードは使用できません。
COLORあるいはB/Wモードのみです。

その他



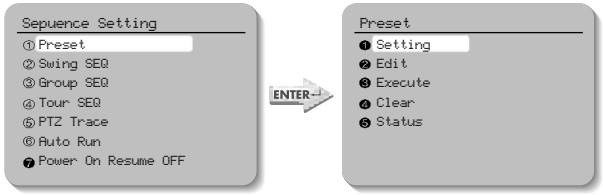
❶ Sync. : Internal Sync.(内部同期)あるいはLine Lock(電源同期)を選択できます。
初期設定は内部同期です。電源同期機能は同期信号発生器を用いないで、1台以上のカメラを電源周波数に同期できます。AC Line Lockを選択すると、位相は0° ~ 360°まで調整できます。

② Image Adj.(画質調整) : 映像の明るさ、鮮鋭度及び色合いを調整します。
→ Tone(明暗) : 画面全体の明るさを調整します。
→ Sharpness(鮮鋭度) : 映像の鮮明さを調整します。
→ Color : 画面全体の色合いを調整します。

❸ Freeze : 移動する被写体を静止させ、再生します。
→ ON : 映像をフリーズします。
→ OFF :フリーズを解除します。

2) Sequence Setting(シーケンス設定)

● Sequenceメニューの設定



① Preset : Pan/Tilt(ロケーション)、Zoom及びFocusのような12項目をカメラ機能の中から選択でき、それらを監視のため呼び出すことができます。全体で128ポイントをプリセットできます。
→ Setting(設定) : 設定メニューでプリセット番号を選択します。Pan/Tilt/Zoomを調整し、その設定をセーブするためEnterキーを押します。Focus、Brightness、Iris及びScene Adj.のような12項目を変更する場合は、Up/Downキーを用いて項目を選びます。12項目の変更がなければ、ESCキーを押して次の設定を行います。
→ Edit(編集) : カメラ機能から選択できるPan/Tiltロケーション、Zoom及びFocusのような12項目を編集できます。
→ Execute(実行) : プリセット番号を選び実行します。
→ Clear(削除) : 削除するためプリセット番号を選びます。
→ Status(状態) : 現在設定のプリセット番号が表示されます。

● Motion Detection Setting(モーション検出設定)
プリセット設定メニューでMotion Detectionを選択し、そのモードをONにします。
→ Sensitivity(感度) : モーション検出の感度を調整します。高感度にすると検出誤差が増加する原因になります。

機能の説明

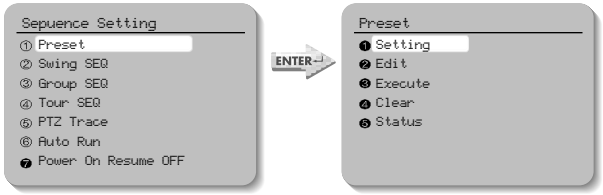
注

- 感度調整後、長時間テストを繰り返し、有効な検出ができるかを確認ください。
- 蛍光灯のように点滅する光源に直面すると、誤動作の原因になります。
  このような環境下ではMD機能の使用を避けてください。
- 被写体の輝度がフラッシュ照明のように急変する、あるいは照明がON/OFFする環境では誤動作の原因になります。
- この機能は火災あるいは強盗のような事故あるいは犯罪を防止するためではありません。製造会社はこれらの機能の不適切な使用により生じるいかなる障害あるいは損害にも責任を有しません。

● Preset Menu Setting(プリセットメニュー設定)

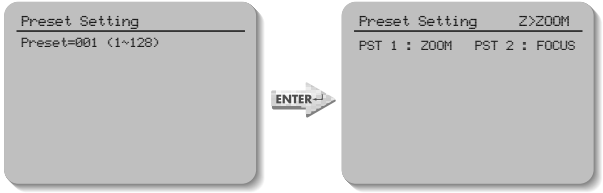
1.Sequence SettingメニューでPreset項目を選びます。

2.設定する項目を選びます。

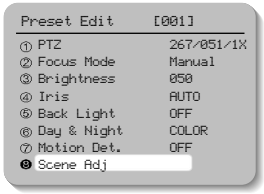


3. プリセット番号を選びます。

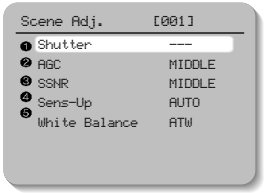
4. Zoom及ぶFocusを設定します。



5. カメラ機能設定項目を編集する場合は、それぞれの項目に移動し、選択します。もし項目を編集しない場合は、プリセットの次のステップへ移動することを続け、ESCキーを押してプリセット設定を行います。

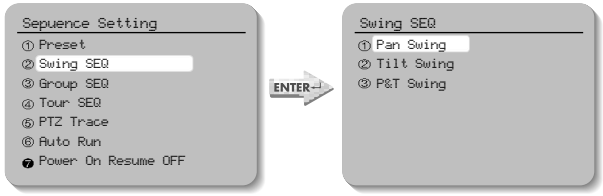


6. Scene Adj.項目を選択すると、Shutter(ｼｬｯﾀｰ)、AGC、SSNR、Sens-Up(電子増感)及びWhite Balance(ﾎﾜｲﾄﾊﾞﾗﾝｽ)のような項目は、それぞれのプリセット項目で独立に設定できます。



機能の説明

② Swing SEQ(ｽｲﾝｸﾞ ｼｰｹﾝｽ)：スイング監視を設定、実行及びそのデータを削除します。



→ Pan Swing ：パンのスイング監視を設定、実行及びそのデータを削除します。

→ Tilt Swing ：チルトのスイング監視を設定、実行及びそのデータを削除します。

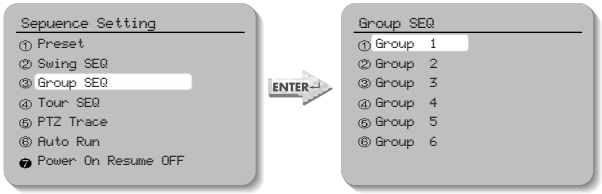
→ P&T Swing ：パン/チルトの同時スイング監視を設定、実行及びそのデータを削除します。

*Setting(設定)：スイング機能のプリセットポジションをジョイスティックで選び、Execution(実行)キーで確認します。回転速度は0.5°～240°/秒です。DWL(停止時間)は00～99秒です。設定処理終了の選択マークの位置でExecution(実行)キーを押します。

*Execute(実行)：スイング監視を実行します。Stopキーで停止します。

*Clear(クリア)：スイング機能設定データを削除します。

③ Group SEQ(グループシーケンス)：シーケンス監視を設定、実行及びデータを削除します。

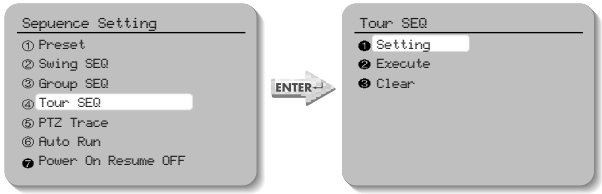


→ Setting(設定) ：スイングのためのプリセットポジションをジョイスティックで選び、Execution(実行)キーで確認します。DWL(停止時間)は00～99秒です。設定処理終了の選択マークの位置Execution(実行)キーを押します。

→ Execute(実行)：スイング監視を実行します。Stopキーで停止します。

→ Clear(クリア)：スイング機能設定データを削除します。

④Tour(ツアー)：グループ監視を設定、実行及びデータを削除します。

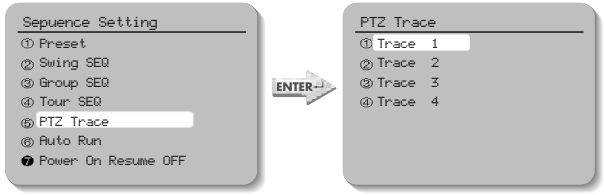


→Setting(設定) ：登録したグループシーケンスをジョイスティックで選び、Execution(実行)キーで確認します。選択した番号が登録されていない場合、それを入力できません。設定処理終了の選択マークの位置でExecution(実行)キーを押します。

→Execute(実行)：グループ監視を実行します。

→Clear(クリア)：グループ監視データを削除します。

⑤ PTZ Trace(PTZトレース)：最大手動操作軌跡(パン、チルト、ズーム及びフォーカス) 4種のパターンを記憶し、再生できます。



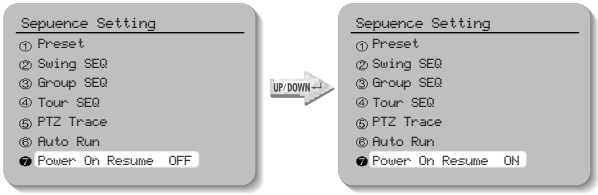
→ Replay(再生)　：手動操作軌跡を反復再生します。Stopキーで動作を停止します。
*動作範囲を①Pan Limit及び②Tilt Limitで制限すると、範囲を超える外の操作はできません。

→ Memorize(記憶)：手動でこの機能を作動させてから120秒間、内部メモリーに軌跡を記憶します。しかし、PTZ操作により異なります。OVER(オーバーマーク)がこの機能の終了を示します。
*動作範囲を①Pan Limit及び②Tilt Limitで制限すると、制限範囲内のみを記憶します。

⑥ Auto Run(オートラン)：一定時間操作がないと、シーケンス操作は、指定されたシーケンス操作で実行されます。

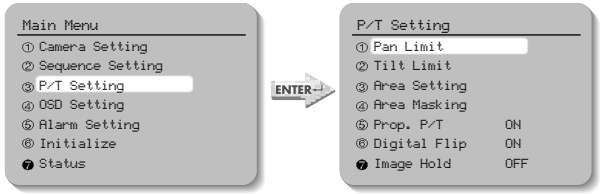
→ Mode ・OFF　：Auto Runはキャンセル。
・Preset：対応するプリセット番号内のAuto Run。
・Swing：対応するスイングモード内のAuto Run。
・Group：対応するグループ番号内のAuto Run。
・Tour　：対応するツアー番号内のAuto Run。
・Trace　：対応するトレース番号内のAuto Run。
・A.Pan：360° 水平方向Auto Pan。

❼ Power On Resume(電源再起動)：カメラへの電源が停電のような理由で切れた場合、再起動し、電源断以前に記憶されたSequence Settingは復元します。



3) P/T Setting(P/T設定)

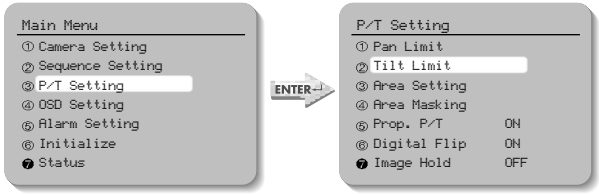
① Pan Limit(パンリ制限)水平方向の回転範囲を制限できます。



→ Position(ポジション)：回転範囲を設定できます。ポジションは左からジョイスティックとExecutionキーで設定します。
停止ポジションは電源再起動のような操作による初期化により変更できます。

→ On/Off：Onで制限機能が作動します。初期設定はOffです。

② Tilt Limit(チルト制限)：垂直方向の回転範囲を制限できます。

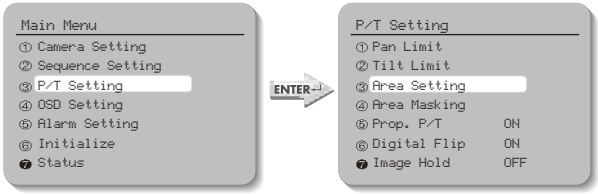


→ Position(ポジション)：回転範囲を設定できます。ポジションは上からジョイスティックとExecutionキーで設定します。
停止ポジションは電源再起動のような操作による初期化により変更できます。

→ On/Off：Onで制限機能が作動します。初期設定はOffです。

機能の説明

③ Area Setting(領域設定) : 領域は表示できます。領域は 8 種まで設定できます。

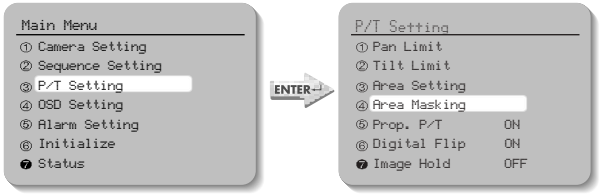


→ Area Name(領域名) : 領域名はジョイスティックとExecutionキーで設定します。最大12文字(英数字)を入力できます。領域名を入力終了したとき、ジョイスティックでポジション・マークを”SET”に合わせ、Executionキーを押します。これで領域名設定は終わりです。

→ Area Position(領域位置) : 領域範囲を指定できます。ジョイスティックとExecutionキーを用いて左から位置を決めます。領域が重なれば、小さい領域番号が重複部を示します。

→ On/Off : 領域マークを有効にするかどうか決めることができます。ポジションが現在領域から他の領域に移動するやいなや作動します。OSD設定をONに設定します。OFFであれば、この機能は作動しません。初期設定はOFFです。

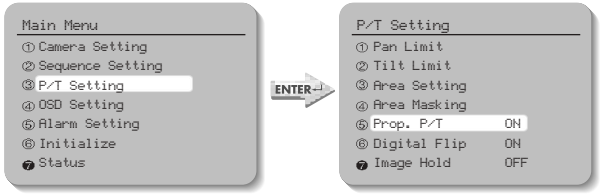
④ Area Masking(領域マスキング) : 隠したい監視領域を黒く目隠しできます。1画面で8っの領域までマスクできます。(最大32領域)



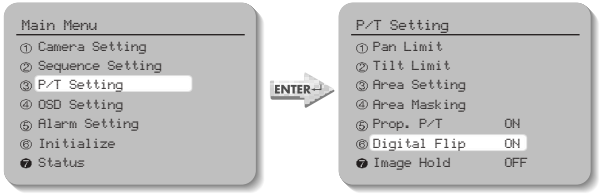
→ Position(ポジション) : ジョイスティックとExecutionキーを用いて、左から画面のポジションを決めます。

→ On/Off : 画面領域マスキングの有効/無効を決めます。初期設定はOFFです。

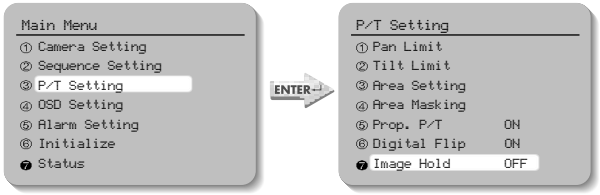
⑤ Prop.P/T : パン/チルト速度はズームの拡大率に対応して変化できます。Teleでは低速、Wideでは高速になります。Teleモードでは一往復約1.5秒、Wideでは約15秒です。初期設定はONです。



⑥ Digital Flip（デジタルフリップ） :
ジョイスティックを用いてチルトの90°を超えると、ある一定時間後、映像は自動的に反転し、逆の領域の上下正常な映像を表示します。カメラの真下を通過する被写体を監視する場合、コントローラーのジョイスティックを用いてDigital Flipを実行します。

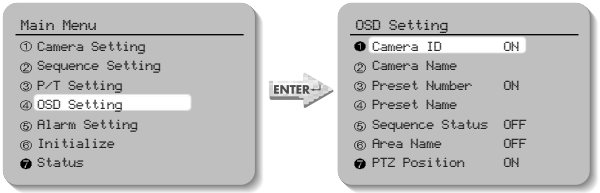


❼ Image Hold(映像保持) : 一つのプリセットから他のプリセットにカメラが移動するとき移動前の映像を、次のプリセットポジションに至るまで保持します。この機能は、監視する要員にとっては非常に便利で、高密度の映像監視ができ、特にネットワークインターフェースユニットを用いるネット経由の映像監視には有効です。

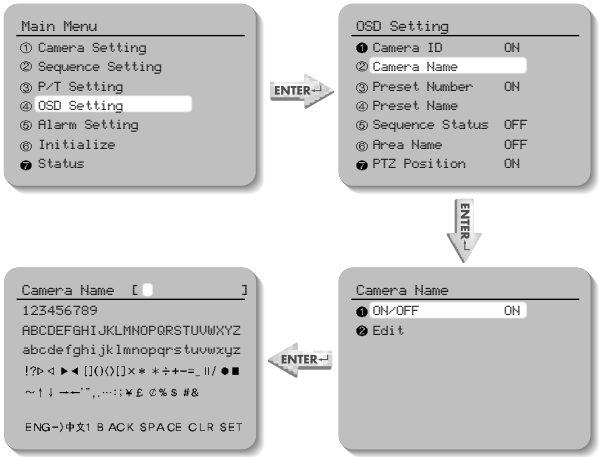


4) OSD Setting(OSD設定)

❶ CameralD(初期設定はON) : Camera ID表示設定

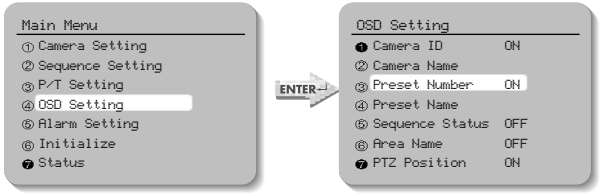


② Camera Name : カメラ名設定



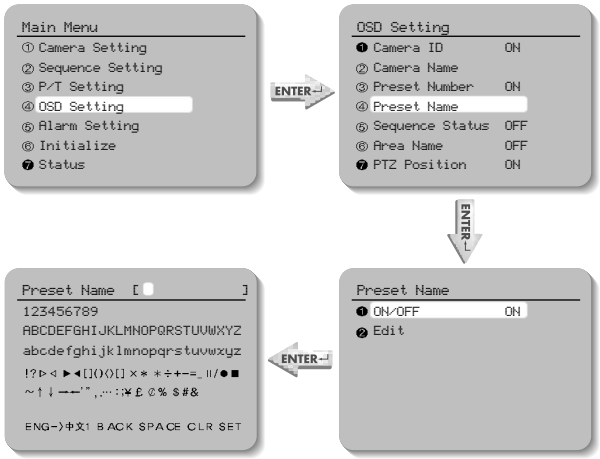
* 項目を編集する場合、カーソルをEditに移動し、Enterキーを押し、それから文字を選択します。
→ Edit(編集) : 英数字最大12文字及び特殊記号をカメラ名として入力できます。
→ On/Off : この機能の作動を設定します。初期設定はOnです。

③ Preset Number(ﾌﾟﾘｾｯﾄ番号)(初期設定はON) : プリセット番号を設定します。



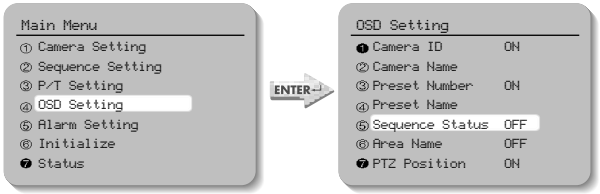
機能の説明

③ Preset Name(プリセット名)

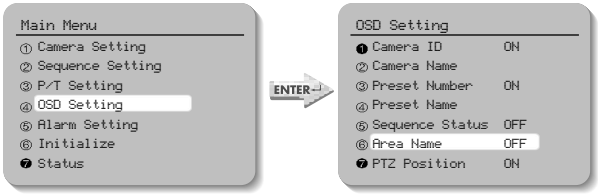


→ Edit(編集)：英数字最大12文字及び特殊記号をカメラ名として入力できます。
→ On/Off：この機能の作動を設定します。初期設定はOnです。

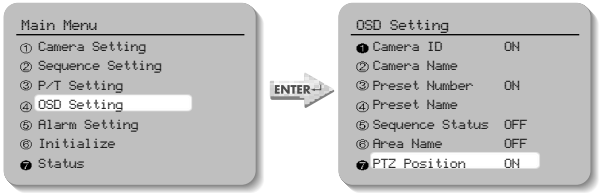
⑤ Sequence Status(シーケンス状態)(初期設定はON)：
シーケンスグループの表示を設定します。



⑥ Area Name(領域名)：領域名表示を設定します。
・Area NameをOFFにすると、領域名は表示されません。



❼ PTZ Position(PTZポジション)：パン/チルトポジションとズーム比が表示されます。
・OFFモードではPTZポジションは表示されません。
(手動操作のみがPTZポジションを表示します。)

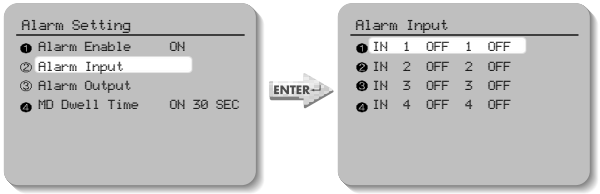


5) Alarm Setting(アラーム設定)

① Alarm Enable(アラーム起動) : アラーム設定の有効かどうかを決めます。

→ ON/OFF : ONモードでアラームは起動します。

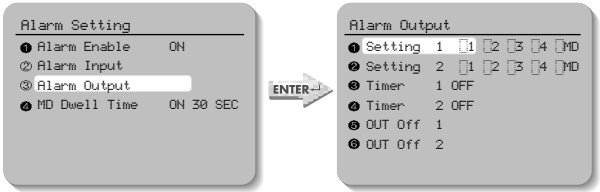
② Alarm Input(アラーム入力) : Alarm Input Mode/Priority/Methodを設定します。


Alarm Setting
❶ Alarm Enable ON
② Alarm Input
③ Alarm Output
❹ MD Dwell Time ON 30 SEC
ENTER
Alarm Input
❶ IN 1 OFF 1 OFF
❷ IN 2 OFF 2 OFF
❸ IN 3 OFF 3 OFF
❹ IN 4 OFF 4 OFF

→ NC/NO/OFF : アラームセンサーの種類によりNC/NO/OFFを選択します。
→ 1-4(Prioity : 優先順位) : 4 っのアラーム入力の優先順位を設定します。
より優先順位の高いアラームから発報します。

→ Preset/Group/Tour Number :
アラーム入力により、Preset/Group/Tourの操作を有効にするか、どうかを決めます。アラームが入力すると、各アラームのPreset/Group/Tour Numberにより設定されたDwell Time(保持時間)の間Preset/Group/Tourポジションに留まります。パターン内のアラームは、パターン設定に従い動作します。

③ Alarm Out(アラーム出力) : 2つのアラーム出力の 1 つがそれぞれのラーム入力に対応しています。


Alarm Setting
❶ Alarm Enable ON
② Alarm Input
③ Alarm Output
❹ MD Dwell Time ON 30 SEC
ENTER
Alarm Output
❶ Setting 1 1 2 3 4 MD
❷ Setting 2 1 2 3 4 MD
❸ Timer 1 OFF
❹ Timer 2 OFF
❺ OUT Off 1
❻ OUT Off 2

→ OUT1 SET/OUT2 SET : 4つのアラーム入力の 1 つが 2 つのアラーム出力に対応します。

→ OUT1 TIME/OUT2 TIME : 2つのアラーム出力に対して、ON/OFF及び動作時間を秒/分/時1- 59秒、1-59分、1-59時）に設定できます。

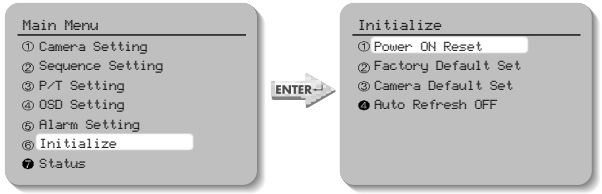
→ OUT1 OFF/OUT2 OFF : 直ちにアラーム出力動作をキャンセルする場合、アラーム動作をキャンセルするための対応するメニューを選択します。

❹ MD Dwell Time(MD保持時間) :
モーション検出がONの場合、画面内の移動物体を検出します。モーションを検出すると、アラーム信号がアラーム出力端子に表示されます。
それぞれのプリセットメニューのモーション検出の詳細は頁44及び45を参照ください。

→ ON/OFF : モーション検出時、どのくらい長い時間動作を持続させるか設定できます。(1-59秒、1-59分)

6) Initialization Setting(初期化設定)

● Initialization Menu(初期化設定メニュー)



① Power On Reset(電源リセット) :
電源ONでカメラを初期設定に戻します。

② Factory Default Setting(出荷時初期設定) :
カメラは初期設定に初期化されます。プリセットデータは削除されます。

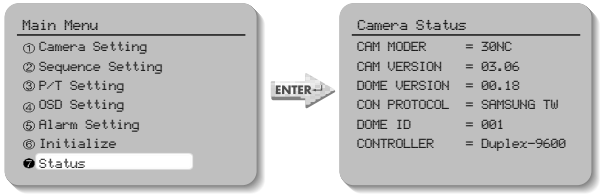
③ Camera Default Setting(カメラ初期設定) :
カメラが故障で交換する場合、交換したカメラに前の設定値を設定できます。

❹ Auto Refresh(自動リフレッシュ) :
カメラ内の電子回路及び部品の状態を定期的に最適化します。(そのサイクルは設定できます。)カメラが光源に向いている、あるいはある領域を長期間回転撮像したため設定が保持できない場合、Auto Refresh機能を用いて現在のカメラ設定を保持し、リセットするために用います。

→ OFF、1~7Days : OFFモードでこの機能は無効になります。
1-7 DaysはAuto Refresh機能を選択した日数の間隔で実行します。Auto Refreshは10秒以内です。
この操作が終了するとメッセージ“Auto Refresh”は消えます。

7) Status(状態)

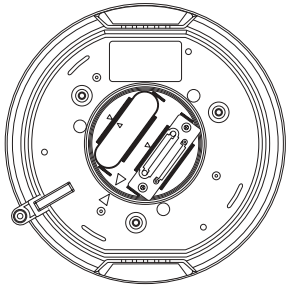
カメラの設定状態を表示します。

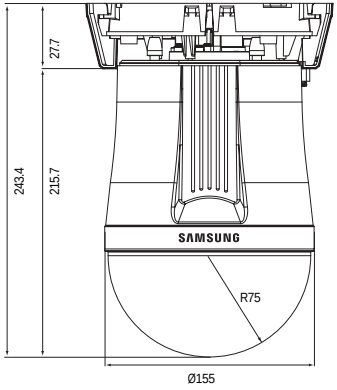


Cam Model=30NC	Camera Model
Cam Version=03.06	Camera S/W Version
Dome Version=00.01	Control Board S/W Version
Dome ID=001	Dome Camera ID
Controller=Duplex-9600	Communication Mode Setup

製品構造及び設置

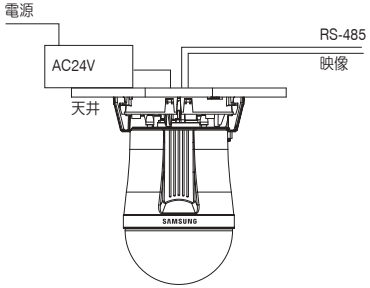
製品構造



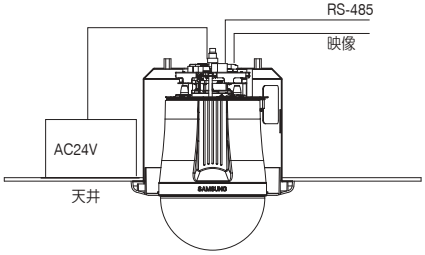


設置

天井面タイプのマウント（STB-330PC）



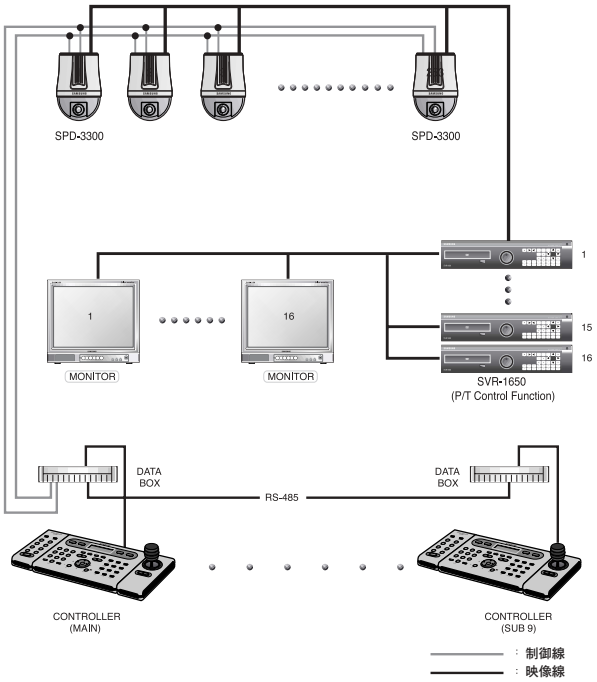
天井埋め込みタイプ(STH-330PE)



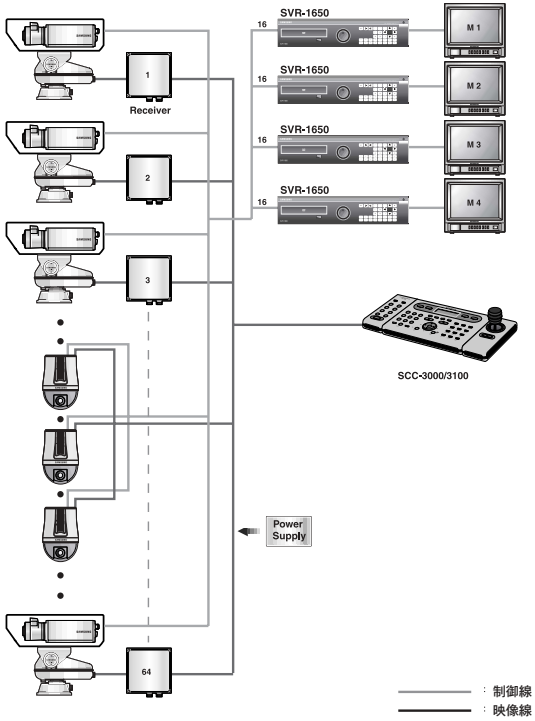
*その他の設置：別売りの屋外設置用付属品が各種の用途に利用できます。
（頁26及び27を参照ください。）

製品構造及び設置

設置 1



設置 2



仕 様

SPD-3300N	
TV方式	NTSC方式に準拠
撮像素子	1/4型ダブルスキャンExview CCD、38万画素
総画素数	811(H)×508(V)
有効画素数	768(H)×494(V)
走査方式	2:1インターレース、525本
走査周波数	15.734 k Hz(H)、59.94Hz(V)
同期方式	内部同期/電源同期
映像出力	VBS：1.0Vp-p、75Ω、
解像度	画面水平中心：カラー；520TV本、白黒；570TV本
最低被写体照度	0.4ルクス(F:1.6　通常カラーモード) 0.08ルクス(F:1.6 白黒モード) 0.003ルクス（F:1.6 Day&Nightモード）
Day & Night(ICR)	自動/カラー/白黒（ICR：赤外カットフィルター挿入/除去）
S/N(AGC：OFF)	50ｄB以上
AGC	低/中/高/OFF
電子シャッター	自動/手動（1/60～1/120,000秒）、ﾌﾘｯｶｰﾚｽ：ON(1/100秒) /OFF(1/60秒)
電子増感	ON(×2～×128)/OFF
ホワイトバランス	ATW(屋内・屋外選択)/AWC/手動(1,800K～10,500K)
WDR(ﾜｲﾄﾞﾀﾞｲﾅﾐｯｸﾚﾝｼﾞ)	52dB
アイリスモード	自動/手動(アイリスレベル調整モード)
鮮鋭度補正	レベル調整可
OSD	ON/OFF
プライバシーマスキング	ON/OFF(8ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ領域)
モーション検出	ON/OFF(4ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ領域)
オートフリップ	デジタルフリップ
アラーム	４入力２出力：リレー(NC?NO/COM、AC125V/0.5A、 DC30V/２A
シリアル通信	RS-485、RS-422、RS-232C
デジタルズーム	OFF/２X、4X、 8 X(トータル：240倍)
光学ズームレンズ	ｆ＝3.3mm～99mm(30倍)

F値	Wide（1:1.6）Tele(1:3.7)
画角	f=3.3mm：58°(H)×44.8°(V) f=99mm：2.22°(H)×1.68°(V)
最低被写体距離	1.2m(Tele)
水平回転操作	手動/プログラム
水平回転角度	360°エンドレス
水平回転速度	手動：0.5°～120°秒(64段階)、ﾌﾟﾘｾｯﾄ：0.5°～240°/秒、(64段階)
水平最小回転角度	0.05°
水平回転停止精度	0.30°
垂直回転操作	手動/プログラム
垂直回転角度	-4°～184°(コントローラーによるオートフリップ)
垂直回転速度	手動：0.5°～120°秒(64段階)、ﾌﾟﾘｾｯﾄ：0.5°～240°/秒、(64段階)
垂直最小回転角度	0.04°
垂直回転停止精度	0.3°
プリセット	最大128プリセット
電源	AC24V±10%
消費電力	８W(ｽﾀﾝﾊﾞｲ時)、10W(動作中)
動作周囲温度/湿度	-10℃～＋50℃/20%～75%(RH、非結露)
外形寸法/質量	φ155×243.4mm/約2.0kg
付属品	取扱説明書、AC2V電源アダプター、カメラホルダー、 カメラホルダー用ネジX4、ケーブル用X１、 コントローラー接続用端子(７ﾋﾟﾝ)、 アラーム接続用端子(12ﾋﾟﾝ)、安全ワイヤ
設置条件	天井面用マウント：STB-330PC、屋内ﾊｳｼﾞﾝｸﾞ：STH-330PI 屋内天井埋め込み用：STH:330PE、屋外：STH-330PO 壁面用：STB-270PW、天井設置用：STB-496PP